

事業者の生物多様性活動への 参入促進のための社会システムづくり

活動地域  徳島県

ひろげる助成

3年目

実践

自立運営検討会13回のべ参加者数 **73人**

認証啓発ブース来訪者 **200人**

今年度計画の達成度 **85%**

目標達成度 **80%**



生物多様性活動認証農産物の販売コーナー

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

認証制度の社会システム構築段階で当初予定していた行政との連携が得られなくなり、時間的余裕がないなか、「とくしま生物多様性活動認証機構」を設立しなければならなくなった点。

■ 工夫した点

農家向けの生物多様性への理解を審査するチェックリストの内容決定には、多くの時間と多数の人からの意見を参考にして完成させた点。

課題

地域において事業者が生物多様性活動を行うことを選択する上でのインセンティブとなる取組みを構築する。

目標

徳島県において生物多様性保全に配慮した事業活動が普及しはじめる。

活動内容と成果

とくしま生物多様性活動認証機構を設立し、認定機関の指定や規約等を整備し生物多様性認証制度を社会システムとして構築した。生物多様性講習会を地元スーパーの新規契約農家を対象に8回開催し、審査の結果、今年度13件、15人が認定を受けた。また、HPを立ち上げ、活動の啓発、認証制度、認証取得者の広報を実施。デザイナーとともに作成した認証ロゴを貼った農産物の販売コーナーを設置し専用のPOPを掲示して、消費者や生産者に広報を行っている。さらにオーガニックフェスタで生産者・消費者に認証制度の広報とアンケートを行った。



とくしま生物多様性活動認証機構設立総会

全助成期間の活動を振り返って

社会システムを構築させることの難しさと達成感を得られた3年間の活動であった。活動開始2年度目に連携先の一つである行政が内部の事情で脱退したことで大きく方向修正を余儀なくされ、進捗スピードが減速したが、次年度に民間主体でローカル認証を回すシステムを構築した。システムが動き出して数か月ではあるが、新型コロナウイルスの影響もあるなか、農業従事者に生物多様性活動を推進していきたいと考えている。



オーガニック・エコフェスタブース展示風景

〒774-0016
徳島県阿南市中林町東45-1
電話：090-2828-6181
E-mail：sachiyouww@hotmail.co.jp



今後の 展望

前年度に構築した社会システムを使って、生物多様性活動認証制度の普及啓発を実施し、キョーエイすきと新規契約農家の認証ロゴ登録農家数の増加を図ること、認証ロゴを貼った農産物の販売個数を増やすことを重点的に行う。また、キョーエイ系列以外の流通業者での認証ロゴ商品の販路を拡大することで、生産者・消費者への認証ロゴの認知度の向上を行う。さらに、異業種への認証制度の拡がりを検討する。